

紛争の最大の問題点とその危機への心構え、後編

前編の vol. 71 で「大規模な紛争が起こるかも知れない今、vol. 38『いき過ぎた部分最適化社会の罪、後編』でも、述べましたが、『少し視点を地球規模に広げてみると、国際交渉も、相も変わらず、アメリカ主導の枠組み論がベースで世界制覇されているように感じます。枠組み論をベースにすすめるだけでは、どうやっても世界がバラバラになっていくだけです。支配力のある人たちの非常に貧しい発想で世界が制覇されてしまっている現状が歯痒いです。』私たちの手の届かない問題にどう対処すれば良いか？…答えは意外と簡単なのかも知れません。」と述べました。続きになります。とにかく前進する。1歩でもいいし半歩でもいいし1センチでも、1ミリでも良いです。ちよつと前進する事が大切であり、どんなに視界が悪くても、ほんの1ミリ位は動けるはずで。とにかくちよつとずつでも前進するという事さえ心がけていれば、何かを達成できると信じています。私の杞憂かも知れませんが、今が「最悪に備えて最善を尽くす」最も大切な時期です。一個人一市議会議員としては、できる事は本当に少ないのかも知れませんが、前述した事を胸に刻み、視野をぎりぎりまで広げ、常にアンテナを張り、考え続ける事で、乗り越えていきます。世界のどこかで誰かが傷ついている、傷つくかも知れない事を忘れないようにしたいです。市川市や自分の周りだけで考えてみても、これまでに救えなかった方はたくさんいます。その事を思うと今でも悔しく、後悔してしまうからこそ、未来の傷つくかも知れない人は救いたいです。vol. 53「20年後の市川市と文明の転換点」でも、述べましたが、「どんな未来であれ、20年後の子供達に『明るくて平和で安全な時代に生まれて本当に良かった。』と思ってもらえる社会にしたいです。」…前回に続き、そもそも市議会議員が語るべきテーマか怪しいと自認しています。でも、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「平和な理想の社会」を思い描き、話し合ってみて下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成30年2月20日

増田好秀